

社団法人 東京電機大学校友会
第 122 回 評議員会
第 67 回 総会

日 時 平成 24 年 5 月 19 日 (土) 13 時 00 分～14 時 50 分

場 所 東京電機大学 東京千住キャンパス 1 号館 2 階 丹羽ホール

議 案【評議員会】

- 第 1 号議案 平成 23 年度事業報告案承認の件
- 第 2 号議案 平成 23 年度決算案承認の件並びに監査報告
- 第 3 号議案 平成 24 年度事業計画案承認の件
- 第 4 号議案 平成 24 年度予算案承認の件
- 第 5 号議案 理事・監事選出の件
- 第 6 号議案 移行の登記を停止条件とした一般社団法人移行に関する承認の件
 - ・移行後の理事、監事の選任
 - ・最初の代表理事、業務執行理事の選定
 - ・「定款の変更案」「総会承認規程・規則」の決議
 - ・定款の変更案に関する軽微な修正を理事長一任とする旨の承認
- 第 7 号議案 東京千住キャンパス移転に伴う現定款第 2 条事務所所在地の変更

議 案【総会】

上記議案 (第 5 号議案を除く)

————— ※ —————

講演会

時 間 15 時 00 分～16 時 30 分
場 所 東京電機大学 東京千住キャンパス 1 号館 2 階 丹羽ホール
講 師 東京電機大学 未来科学部長 安田 浩 教授
演 題 「メディア社会の将来」

懇親会 (立食パーティー)

時 間 16 時 45 分～18 時 15 分
場 所 東京電機大学 東京千住キャンパス 1 号館 1 階 100 周年ホール
会 費 無料

■平成23年度事業報告(案)

学園とともに平成24年4月からの東京千住キャンパスへの移転に伴い、社団法人東京電機大学校友会(以下、「校友会」という)は、次の100年に向け新たな出発点に立った。校友会は、学園に対する最大の支援組織として、学園へのさらなる協力を目指した。

さらに、懸案事項として、国の公益法人制度改革に伴う新法人への移行を目指し、定款の改定、諸規則の整備等、具体的な作業を進めた。

また昨年度末3月11日に起きた東日本大震災に際しては、校友会としていち早く被災地の支部長と連絡を取り、被害状況を調査した。折から学園でも被災学生・生徒に対する対応の一環として修学支援募金を立ち上げたことに応じ、校友会からもこれに寄付することで対応した。その後被害は地震・津波にとどまらず、原発の損傷による放射能汚染にまで広がっている。校友会として今後も継続的に情報収集を続け、状況に応じた対応を心がけていく所存である。

1. 校友会員に対するサービスの充実

これまでの各種サービスを検証し、会員にとって魅力あるサービスの展開を目指した。

また、校友会員に対するサービスの基礎となる通常会員の会員数拡張に努めているが、微増の状況となっている。

3月末までの予納会員以外の新規加入者は、1,021名であり、3月末現在の会員数は、30,948人(昨年度末は30,847人)で、昨年と比較して101名の増となっている。また、3月末日の入金状況は11,129千円であった。

(1) 会誌・工学情報の定期発行

会員を対象に定期的に年4回発行した。

このうち、冬号をサービス号と位置付け、会員でない住所判明者に発送して校友会への加入を呼び掛けているが、その効果は明確でない。

また、会員の正確な情報を把握するため、昨年より冬号発送時に校友会が把握している会員情報を印刷して送付し、情報の修正をお願いしている。会員情報を同封することにより、修

正依頼の件数は増えており、より正確な情報把握に繋がっている。

尚、東日本大震災に関しては、学園・校友会の対応を秋号に、被災地支部長からの報告を冬号に掲載し、会員への情報提供とした。

(2) 卒業生バックアップセンターへの卒業生登録の推進

3月31日現在の登録卒業生数は5,398名(昨年度末4,526名)、協力登録企業数は1,426社(同1,406社)である。登録卒業生数は、順調に伸びているが、経済状況を反映して企業数は、伸び悩んでいる。

(3) 会員への斡旋事業

例年同様、会員に対して次の各種斡旋事業を行なった。

- ① 学園図書館の利用斡旋
- ② 学術図書雑誌の購入斡旋
- ③ 法律、特許相談の斡旋
- ④ 校友会員限定の特別割引物品の斡旋

(4) ホームページの情報充実とホームページからの加入促進の積極的広報の実施

校友会情報は随時ホームページに掲載し、会員へ情報提供している。

更に、昨年度は東京千住キャンパスの工事が進行している状況に鑑み、1年間を通じて、ライブカメラによる東京千住キャンパス工事進捗状況を配信した。

また、工学情報バックナンバーを電子ファイル化して掲載し、常時閲覧可能な状況を実現した。

さらに、クレジット決済によるホームページからの加入促進を計った。3月31日現在の加入者は、新規94名1,002千円、継続57名528千円であった。わずかではあるが、利便性を増したことの効果が現れていると考えられる。

(5) メールマガジン配信の検討

メールマガジン配信の前段階として、校友会データベースに登録されている会員を検索して、検索条件に適合した会員にメールを配信するシステムを構築した。これにより、イベント等の情報発信が容易となった。メールマガジンの配信については、継続して検討する。

2. 校友会活動の活性化

校友会員向けの活動として次の事業を行った。

(1) 支部活動の活性化

①支部への支援

平成 23 年度の全国の地方および県支部総会は、21 箇所（別表-1）において開催された。

②東京都支部の設立

東京都支部の設立に向けて検討を行い、一般社団法人移行申請に合わせ、設立を目指すこととした。

③県支部連絡協議会の開催

平成 21 年からスタートした地方支部連絡協議会は、平成 23 年度は、5 箇所（神奈川・千葉・埼玉・群馬・茨城・栃木 3 県を含む）で開催した。すべての連絡協議会において、多数の支部長（代理を含む）が参加しての開催であり、この方式が定着してきたことが伺われる。

(2) 職域電機会の活性化と新規設立の勧誘

①職域電機会への支援

平成 23 年度における電機会総会は 17 箇所（別表-2）で開催された。

なお、職域電機会の新規設立は 1 企業であった。

②技術士会の設立

技術士会設立に向けて検討を行い、平成 24 年度中の設立を目指すこととした。

(3) 同窓会活動への支援

例年同様、大学同窓会、中学・高等学校同窓会、電機学校同窓会の活動に対して、総会への協力はもとより、日頃から、積極的に支援と協力を行なった。

(4) 留学生OBとの連携

平成 23 年度においては、校友会の行事日程と連携がとれず、実施することができなかった。平成 24 年度については、是非実施したい。

3. 準会員への支援

例年に準じた支援については予定通り実施できた。準会員への支援事業は次のとおりであった。

①クラブ活動補助

学生・生徒の課外活動を支援することから補助を行った。

②全学行事補助

大学に対しては、合同体育祭、各キャンパス学園祭、リーダースキャンプ等に補助を行なった。特に、神田キャンパス最後の錦祭に対しては、連年よりも多くの支援を行った。中学・高等学校に対しては、体育祭、文化祭、文化講演会等に補助を行なった。

③卒業式・入学式記念品補助

卒業記念品として、大学には卒業証書挟みおよび修了証紙筒を、中学・高等学校には学業優秀賞および皆勤賞の副賞を贈呈した。また、入学式記念品として、学園の全新入学生・生徒に校歌CDを贈呈した。

④卒論発表会・就職セミナー等支援

卒論発表会・就職セミナーに支援を行った。

⑤準会員向け工学情報（KJ）発行

就職を希望する学生が持参して、2 月に開催された就職セミナー（大学と大学同窓会との共催）に臨める様に、就職特集号の「工学情報（KJ）」を 12 月に発行した。

⑥東京電機大学校友会・新電気奨学金貸付

2 名の希望者に奨学金（総額 1,406,500 円）を貸与した。

⑦イベント協賛援助

アメリカボストンの MIT で開催された IDC ロボットコンテストへの参加と高校自転車競技部の全国大会出場に対して支援した。

4. 社団法人としての公益活動と今後の課題

(1) 公益活動

本校友会は、学園の発展に協力すると同時に会員相互の親睦と研修を図る一方で、特例民法法人として教育、学術、文化の発展に寄与することを目的とする公益法人である。

平成 23 年度には次の講演会・見学会等の開催・共催を実施した。

①公開講演会関係

県支部主催による公開講演会が都合 9 箇所（別表－4）で開催された。

②見学会関係

校友会、商工懇話会、電機学校同窓会主催の見学会を含め、県支部主催による見学会が 5 箇所（別表－5）で開催された。

③協賛した事業（3 件）

- ・ME 講座 全 10 回 19 コマ開催（学園：産官学交流センター主催）
- ・ロボット工作教室 年 10 回開催（高等学校主催）
- ・修士論文発表会（工学研究科・情報環境学研究科主催）

(2) 目指す方向

平成 22 年度の評議員会・総会において一般社団法人への移行を目指すことが承認されたことを受け、理事会の下に「法人移行実行委員会」を設置し、平成 23 年度は、10 回におよぶ検討を重ね定款や規則等の作成を行った。

5. 東京千住キャンパス創設事業募金への協力

学園の最大の支援団体である校友会は、学園の創設事業の遂行に協力すべく卒業生向けの募金活動について、総会等を通じて積極的に協力要請を行った。

卒業生の寄付総額は 3 月 31 日現在で 393,000 千円（目標の 87.3%）となった。

6. 学園との連携強化

(1) 学生募集の支援

学園が東京千住キャンパス開設を前に学部・学科を再編成し、教育研究の特色化、個性化をはかり、新しい時代の社会的要請に応えようと努めていることを踏まえて、学園との連携を図り、特に、教職校友会の協力を得て、推薦入試等での学生募集を支援した。

また、校友会から地方支部に対して入試業務への協力を要請し、幾つかの地方試験会場において支部役員がその業務に当たった。

(2) 経営同友会の運営への協力

経営同友会は学園と産業界で活躍されている校友の方々との間にネットワークを構築し、会員企業ならびに学園および校友の発展を目指すことを目的に設立された組織である。

校友会では、学園と校友との連携の重要性を鑑みて、経営同友会の企画・運営するイベントに協力した。

(3) 父母懇談会への参画と協力

地方父母懇談会には、多くのご父母の方々が参加されるため、大学関係者と交流ができる貴重な機会となっている。今年度は、地方 10 会場で開催された父母懇談会に支部長あるいはその代理の方が参加し、地方支部の活動等について説明を行い、参加ご父母との交流を図った。

(4) 東日本大震災による被災学生に対する支援

修学支援募金として、5,000 千円の寄付を行った。

以上

〔別表－1：支部総会の開催状況〕

日 付	支部名	日 付	支部名	日 付	支部名
5 月 29 日	愛知県支部	8 月 27 日	宮崎県支部	3 月 25 日	富山県支部
6 月 4 日	埼玉県支部	10 月 9 日	福岡県支部		
6 月 5 日	神奈川県支部	10 月 15 日	石川県支部		
6 月 11 日	千葉県支部	10 月 22 日	栃木県支部		
6 月 12 日	岐阜県支部	10 月 22 日	熊本県支部		
6 月 25 日	茨城県支部	11 月 11 日	北海道支部		
7 月 2 日	三重県支部	11 月 12 日	大分県支部		
8 月 6 日	青森県支部	11 月 12 日	新潟県央電機		
8 月 27 日	新潟電機	11 月 19 日	秋田県支部		
8 月 27 日	鹿児島県支部	12 月 3 日	山陰支部		

〔別表－2：電機総会の開催状況〕

日付	電機名	日 付	電機名	日 付	電機名
5 月 7 日	商工懇話会春季総会	6 月 23 日	東管支部東京北電機	11 月 17 日	民間放送校友会
5 月 27 日	東管支部	7 月 15 日	東亜ディーケーケー電機	11 月 28 日	沖電気電機
6 月 3 日	京三電機	7 月 31 日	教職校友会静岡県支部	12 月 17 日	長谷工電機
6 月 9 日	東光電気工事電機	9 月 30 日	日本電波工業電機	2 月 29 日	東管支部東京西電機
6 月 14 日	東管神奈川電機	10 月 7 日	商工懇話会秋季総会	3 月 3 日	三菱電機
6 月 18 日	教職校友会	10 月 29 日	川北電気工業電機		

〔別表－3：県支部連絡協議会開催状況〕

日 付	場 所	地区
8 月 27 日	ホテルマリンパレスかごしま（鹿児島市）	九州・沖縄地区
10 月 15 日	ガーデンホテル金沢（石川県金沢市）	甲信越・北陸地区
11 月 29 日	東京神田キャンパス 10 号館 7 階校友会談話室	埼玉・千葉・神奈川三県
11 月 12 日	伊勢崎サンホテル	群馬・茨城・栃木三県
12 月 10 日	ホテル JAL CITY 青森（青森県青森市）	東北・北海道地区

〔別表－４：公開講演会の開催状況〕

日 付	演 題	講 師	主 催
6 月 4 日	企業ファイナンス・財務諸表の見方	東原功氏	埼玉県支部
6 月 5 日	電子書籍について	植村八潮氏	神奈川県支部
6 月 11 日	色彩の効果で健康増進	今野紀子准教授	千葉県支部
6 月 25 日	X線を使って環境浄化植物の謎を解く	保倉明子准教授	茨城県支部
7 月 2 日	みんなで考えよう地球環境と風力発電	西方正司教授	三重県支部
7 月 3 日	がんは予防できるか	川井悟教授	神奈川県支部
8 月 6 日	シリコンバレーの近況と英語の苦手意識をなくす方法	安藤浩二氏	青森県支部
10 月 5 日	いつも元気に幸せに生きよう	小谷誠理事	石川県支部
10 月 22 日	エネルギー問題と自然エネルギーの課題	加藤政一教授	栃木県支部

〔別表－５：見学会の開催状況〕

日 付	場 所	参加者	主 催
10 月 2 日	サントリー白州工場	37 名	電機学校同窓会
10 月 31 日 11 月 1 日	富浦道楽園、館山赤山地下壕、南房総フラワーライン、新日鉄君津工場、房総四季の蔵、小泉酒造、笠森観音	20 名	東管神奈川電機会
12 月 16 日	J F E スチール東日本製鉄所千葉地区	34 名	千葉県支部
1 月 11 日	J A L 機体整備工場	61 名	神奈川県支部
3 月 29 日	スカイツリー、船上から観桜会	25 名	東管支部

■平成23年度決算承認の件並びに監査報告

平成23年度収支計算書

収 支 計 算 書

平成 23 年 4 月 1 日 から 平成 24 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	65,900,000	67,528,800	△ 1,628,800	
通常会員会費収入	9,500,000	11,128,800	△ 1,628,800	
予納会員会費収入	56,400,000	56,400,000	0	
事業収入	500,000	0	500,000	
見学・講演会収入	500,000	0	500,000	
補助金等収入	15,000,000	15,000,000	0	
学園助成金収入	15,000,000	15,000,000	0	
資産運用収入	630,000	743,545	△ 113,545	
受取利息配当金収入	630,000	743,545	△ 113,545	
預託金取崩収入	4,000,000	5,910,000	△ 1,910,000	
準会員預託金取崩収入	4,000,000	5,910,000	△ 1,910,000	
寄付金収入	4,500,000	4,045,300	454,700	
工学情報広告収入	4,000,000	3,595,300	404,700	
オーム社寄贈品収入	400,000	350,000	50,000	
その他寄附金収入	100,000	100,000	0	
雑収入	80,000	70,000	10,000	
その他収入	80,000	70,000	10,000	
事業活動収入計	90,610,000	93,297,645	△ 2,687,645	
2. 事業活動支出				
事業費支出	101,084,000	87,000,396	14,083,604	
〔会報発行費〕	〔 38,910,000〕	〔 35,678,349〕	〔 3,231,651〕	
原稿料支出	460,000	175,000	285,000	
編集費支出	600,000	450,240	149,760	
印刷費支出	23,100,000	21,167,653	1,932,347	
発送費支出	14,750,000	13,885,456	864,544	
〔名簿管理費〕	〔 4,700,000〕	〔 3,819,463〕	〔 880,537〕	
保守料支出	900,000	443,940	456,060	
入出力費支出	3,800,000	3,375,523	424,477	
〔Web情報発信サービス〕	〔 3,810,000〕	〔 2,461,860〕	〔 1,348,140〕	
ホームページ機能強化費支出	2,890,000	2,177,100	712,900	
ホームページ維持費支出	920,000	284,760	635,240	
〔見学・講演会費〕	〔 2,450,000〕	〔 730,000〕	〔 1,720,000〕	
校友会主催講演会費支出	1,100,000	0	1,100,000	
支部主催講演会費支出	750,000	430,000	320,000	
法律相談費支出	50,000	0	50,000	
学園イベント費支出	550,000	300,000	250,000	
〔支部援助費〕	〔 16,620,000〕	〔 14,804,193〕	〔 1,815,807〕	
支部活動援助費	7,920,000	7,188,090	731,910	
支部総会祝金	600,000	420,000	180,000	
職域電機援助費支出	1,600,000	1,627,033	△ 27,033	
旅費交通費支出	4,700,000	4,059,364	640,636	
慶弔費支出	150,000	0	150,000	
会議費支出	1,200,000	1,299,706	△ 99,706	
広告費支出	450,000	210,000	240,000	
〔同窓会援助費〕	〔 11,244,000〕	〔 10,944,000〕	〔 300,000〕	
大学同窓会援助費支出	7,396,000	7,116,000	280,000	
中高同窓会援助費支出	2,648,000	2,678,000	△ 30,000	
電機学校同窓会援助費支出	1,200,000	1,150,000	50,000	
〔クラブ活動援助費〕	〔 4,850,000〕	〔 3,870,510〕	〔 979,490〕	
大学クラブ活動援助費支出	4,050,000	3,200,000	850,000	
中高クラブ活動援助費支出	800,000	670,510	129,490	
〔全学行事援助費〕	〔 6,000,000〕	〔 4,819,917〕	〔 1,180,083〕	
大学全学行事費支出	4,800,000	4,185,236	614,764	

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
中高全学行事費支出	1,200,000	634,681	565,319	
〔卒入学記念品費〕	〔 2,800,000〕	〔 2,036,331〕	〔 763,669〕	
卒入学記念費支出	2,800,000	2,036,331	763,669	
〔卒論・就職セミナー〕	〔 300,000〕	〔 125,000〕	〔 175,000〕	
卒論・就職セミナー	300,000	125,000	175,000	
〔工学情報分担金〕	〔 2,000,000〕	〔 1,608,773〕	〔 391,227〕	
工学情報分担金	2,000,000	1,608,773	391,227	
〔イベント協賛援助費〕	〔 2,000,000〕	〔 800,000〕	〔 1,200,000〕	
イベント協賛援助費	2,000,000	800,000	1,200,000	
〔その他事業費〕	〔 5,400,000〕	〔 5,302,000〕	〔 98,000〕	
その他事業費	5,000,000	5,002,000	△ 2,000	
談話室運営費	300,000	300,000	0	
留学生交流会	100,000	0	100,000	
管理費支出	24,836,000	22,763,153	2,072,847	
給与手当支出	4,100,000	3,561,030	538,970	
委託費支出	7,160,000	6,482,764	677,236	
消耗品費支出	3,000,000	3,021,822	△ 21,822	
旅費交通費支出	300,000	253,980	46,020	
〔会議費〕	〔 4,440,000〕	〔 3,596,602〕	〔 843,398〕	
理事会費支出	1,740,000	1,692,414	47,586	
委員会費支出	800,000	739,804	60,196	
総会・評議員会支出	1,500,000	1,098,604	401,396	
その他会議費支出	400,000	65,780	334,220	
通信運搬費支出	3,000,000	3,080,506	△ 80,506	
印刷製本費支出	200,000	455,509	△ 255,509	
〔賃借料〕	〔 1,536,000〕	〔 1,185,387〕	〔 350,613〕	
事務機器リース料	1,050,000	758,751	291,249	
校友会システム	486,000	426,636	59,364	
慶弔費支出	200,000	253,400	△ 53,400	
雑費支出	900,000	872,153	27,847	
事業活動支出計	125,920,000	109,763,549	16,156,451	
事業活動収支差額	△ 35,310,000	△ 16,465,904	△ 18,844,096	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
事業積立特定資産取崩収入	5,000,000	19,994,000	△ 14,994,000	
通常会費特定資産取崩収入	17,000,000	20,200,000	△ 3,200,000	
奨学貸付金回収収入	4,000,000	3,569,845	430,155	
投資活動収入計	26,000,000	43,763,845	△ 17,763,845	
2. 投資活動支出				
事業積立特定資産繰入支出	0	3,285	△ 3,285	
通常会費積立資産繰入支出	0	3,200,000	△ 3,200,000	
準会員事業基金繰入支出	5,080,000	5,025,215	54,785	
奨学貸付金支払支出	6,500,000	1,406,500	5,093,500	
投資活動支出計	11,580,000	9,635,000	1,945,000	
投資活動収支差額	14,420,000	34,128,845	△ 19,708,845	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
予備費支出	4,400,000	0	4,400,000	
当期収支差額	△ 25,290,000	17,662,941	△ 42,952,941	
前期繰越収支差額	34,336,970	34,336,970	0	
次期繰越収支差額	9,046,970	51,999,911	△ 42,952,941	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払費用、預り金、未払法人税等を含めています。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりです。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	34,532,810	52,058,671
貯蔵品	0	50,000
合計	34,532,810	52,108,671
預り金	125,840	38,760
未払法人税等	70,000	70,000
合計	195,840	108,760
次期繰越収支差額	34,336,970	51,999,911

(第2号議案関連)

貸 借 対 照 表

平成 24 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	52,058,671	34,532,810	17,525,861
貯蔵品	50,000	0	50,000
流動資産合計	52,108,671	34,532,810	17,575,861
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
住友信託銀行貸付信託	2,000,000	2,000,000	0
基本財産合計	2,000,000	2,000,000	0
(2) 特定資産			
事業積立特定資産	12,126,623	32,117,338	△ 19,990,715
通常会費積立特定資産	8,200,000	25,200,000	△ 17,000,000
準会員事業基金	50,012,310	44,987,095	5,025,215
特定資産合計	70,338,933	102,304,433	△ 31,965,500
(3) その他固定資産			
準会員学校預託金	144,999,600	132,333,600	12,666,000
正会員学校預託金	487,265,456	493,331,456	△ 6,066,000
奨学貸付金	16,304,203	18,467,548	△ 2,163,345
投資有価証券	2,430,830	2,430,830	0
その他の固定資産合計	651,000,089	646,563,434	4,436,655
固定資産合計	723,339,022	750,867,867	△ 27,528,845
資産合計	775,447,693	785,400,677	△ 9,952,984
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	38,760	125,840	△ 87,080
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	108,760	195,840	△ 87,080
2. 固定負債			
準会員前受金	144,999,600	132,333,600	12,666,000
正会員前受金	487,265,456	493,331,456	△ 6,066,000
固定負債合計	632,265,056	625,665,056	6,600,000
負債合計	632,373,816	625,860,896	6,512,920
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	143,073,877	159,539,781	△ 16,465,904
一般正味財産	143,073,877	159,539,781	△ 16,465,904
正味財産合計	143,073,877	159,539,781	△ 16,465,904
負債及び正味財産合計	775,447,693	785,400,677	△ 9,952,984

(第2号議案関連)

正味財産増減計算書

平成 23 年 4 月 1 日 から 平成 24 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	67,528,800	67,640,600	△ 111,800
受取通常会員会費	11,128,800	9,440,600	1,688,200
受取予納会員会費	56,400,000	58,200,000	△ 1,800,000
事業収益	0	129,000	△ 129,000
受取見学・講演会費	0	129,000	△ 129,000
受取補助等	15,000,000	15,000,000	0
受取学園助成金	15,000,000	15,000,000	0
資産運用益	743,545	805,478	△ 61,933
受取利息配当金	743,545	805,478	△ 61,933
預託金取崩益	5,910,000	5,334,000	576,000
準会員預託金取崩益	5,910,000	5,334,000	576,000
受取寄付金等	4,045,300	3,878,680	166,620
受取工学情報広告代	3,595,300	3,276,000	319,300
オーム社寄贈品	350,000	502,680	△ 152,680
その他寄附金	100,000	100,000	0
雑収益	70,000	140,000	△ 70,000
その他収入	70,000	140,000	△ 70,000
経常収益計	93,297,645	92,927,758	369,887
(2) 経常費用			
事業費	87,000,396	90,096,982	△ 3,096,586
〔会報発行費〕	〔 35,678,349 〕	〔 38,906,458 〕	〔△ 3,228,109 〕
原稿料	175,000	180,000	△ 5,000
編集費	450,240	525,600	△ 75,360
印刷費	21,167,653	24,066,347	△ 2,898,694
発送費	13,885,456	14,134,511	△ 249,055
〔名簿管理費〕	〔 3,819,463 〕	〔 3,649,088 〕	〔 170,375 〕
保守料	443,940	451,290	△ 7,350
入出力費	3,375,523	3,197,798	177,725
〔Web情報発信サービス〕	〔 2,461,860 〕	〔 4,080,404 〕	〔△ 1,618,544 〕
ホームページ機能強化費	2,177,100	3,766,454	△ 1,589,354
ホームページ維持費	284,760	313,950	△ 29,190
〔見学・講演会費〕	〔 730,000 〕	〔 1,671,004 〕	〔△ 941,004 〕
校友会主催講演会費	0	691,004	△ 691,004
支部主催講演会費	430,000	680,000	△ 250,000
学園イベント補助費	300,000	300,000	0
〔支部援助費〕	〔 14,804,193 〕	〔 14,977,857 〕	〔△ 173,664 〕
支部活動援助費	7,188,090	7,763,681	△ 575,591
支部総会祝金	420,000	540,000	△ 120,000
職域電機機会援助費	1,627,033	1,404,577	222,456
旅費交通費	4,059,364	4,125,970	△ 66,606
慶弔費	0	10,000	△ 10,000
会議費	1,299,706	983,629	316,077
広告費	210,000	150,000	60,000
〔同窓会援助費〕	〔 10,944,000 〕	〔 10,408,000 〕	〔 536,000 〕
大学同窓会援助費	7,116,000	6,704,000	412,000
中高同窓会援助費	2,678,000	2,704,000	△ 26,000
電機学校同窓会援助費	1,150,000	1,000,000	150,000
〔クラブ活動援助費〕	〔 3,870,510 〕	〔 4,105,475 〕	〔△ 234,965 〕
大学クラブ活動援助費	3,200,000	3,200,000	0
中高クラブ活動援助費	670,510	905,475	△ 234,965
〔全学行事援助費〕	〔 4,819,917 〕	〔 3,984,715 〕	〔 835,202 〕

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
大学全学行事費	4,185,236	3,387,000	798,236
中高全学行事費	634,681	597,715	36,966
〔卒入学記念品費〕	[2,036,331]	[2,329,495]	[Δ 293,164]
卒入学記念費	2,036,331	2,329,495	Δ 293,164
〔卒論・就職セミナー〕	[125,000]	[129,000]	[Δ 4,000]
卒論・就職セミナー	125,000	129,000	Δ 4,000
〔工学情報分担金〕	[1,608,773]	[1,474,795]	[133,978]
工学情報分担金	1,608,773	1,474,795	133,978
〔イベント協賛援助費〕	[800,000]	[850,000]	[Δ 50,000]
イベント協賛援助費	800,000	850,000	Δ 50,000
〔その他事業費〕	[5,302,000]	[3,530,691]	[1,771,309]
その他事業費	5,002,000	3,230,691	1,771,309
談話室運営費	300,000	300,000	0
管理費	22,763,153	18,701,217	4,061,936
給与手当	3,561,030	3,151,680	409,350
委託費	6,482,764	5,934,024	548,740
消耗品費	3,021,822	702,614	2,319,208
旅費交通費	253,980	249,850	4,130
〔会議費〕	[3,596,602]	[3,920,078]	[Δ 323,476]
理事会費	1,692,414	1,612,452	79,962
委員会費	739,804	796,376	Δ 56,572
総会・委員会費	1,098,604	1,412,620	Δ 314,016
その他会議費	65,780	98,630	Δ 32,850
通信運搬費	3,080,506	1,123,087	1,957,419
印刷製本費	455,509	397,320	58,189
〔賃借料〕	[1,185,387]	[1,301,110]	[Δ 115,723]
事務機器リース	758,751	904,084	Δ 145,333
校友会システムリース	426,636	397,026	29,610
慶弔費	253,400	121,400	132,000
雑費	872,153	1,800,054	Δ 927,901
経常費用計	109,763,549	108,798,199	965,350
当期経常増減額	Δ 16,465,904	Δ 15,870,441	Δ 595,463
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	Δ 16,465,904	Δ 15,870,441	Δ 595,463
一般正味財産期首残高	159,539,781	175,410,222	Δ 15,870,441
一般正味財産期末残高	143,073,877	159,539,781	Δ 16,465,904
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	143,073,877	159,539,781	Δ 16,465,904

(第2号議案関連)

財 産 目 録
(平成24年3月31日現在)

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 基本財産	2,000,000	I 流動負債	108,760
住友信託銀行貸付信託	2,000,000	未払費用	70,000
II 運用財産		預り金	38,760
1. 流動資産	52,108,671	II 固定負債	632,265,056
(1) 現金預金	52,058,671	(1) 学校預託金	632,265,056
(2) 貯蔵品	50,000	準会員前受金	144,999,600
2. 固定資産	721,339,022	正会員前受金	487,265,456
(1) 学校預託金	632,265,056	負債合計	632,373,816
準会員学校預託金	144,999,600	正味財産	143,073,877
正会員学校預託金	487,265,456	負債正味財産合計	775,447,693
(2) 事業積立特定資産	12,126,623		
(3) 通常会員会費特定資産	8,200,000		
(4) 準会員事業基金	50,012,310		
(5) 奨学貸付金 39名	16,304,203		
(6) 有価証券	2,430,830		
資産合計	775,447,693		

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
有価証券・・・移動平均法による原価法を採用しています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
器具備品・・・定額法を採用しています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
住友信託銀行貸付信託	2,000,000			2,000,000
小 計	2,000,000			2,000,000
特定資産				
事業積立特定資産	32,117,338		19,990,715	12,126,623
通常会費積立特定資産	25,200,000		17,000,000	8,200,000
準会員事業基金	44,987,095	5,025,215		50,012,310
小 計	102,304,433	5,025,215	36,990,715	70,338,933
合 計	104,304,433	5,025,215	36,990,715	72,338,933

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
住友信託銀行貸付信託	2,000,000	()	(2,000,000)	()
小 計	2,000,000	()	(2,000,000)	()
特定資産				
事業積立特定資産	12,126,623	()	(12,126,623)	()
通常会費積立特定資産	8,200,000	()	(8,200,000)	()
準会員事業基金	50,012,310	()	(50,012,310)	()
小 計	70,338,933	()	(70,338,933)	()
合 計	72,338,933	()	(72,338,933)	()

監査意見

平成 23 年度予算執行状況、財産の保全と運用状況、会計処理状況を経理帳簿、証憑、銀行通帳等により監査した結果、平成 23 年度決算書は、適正かつ正確に作成されていることを確認しました。

平成 24 年 4 月 18 日

監事 近藤 史生 ㊞
村田 耕治 ㊞

(評議員会・総会共通 第 3 号議案)

■平成 24 年度事業計画（案）

学校法人東京電機大学（以下、「学園」という。）は、足立区北千住の東京千住キャンパス創設に係る建設工事を平成 22 年 2 月に着工した。平成 24 年 1 月 11 日には、定礎式・竣工式を行い、4 月の開設を迎える。

教育研究については、学長のリーダーシップのもと、次の 100 年に向けた『新たな価値の創造』を目指して取り組んでいる。

学園卒業生の会であり、学園に対する最大の支援組織である社団法人東京電機大学校友会（以下、「校友会」という。）は、会員拡張を目指しつつ、会員に対するサービスの充実に努めるとともに、東京千住キャンパス創設募金に対して引き続き協力する。

国の公益法人制度改革に伴う一般社団法人への移行申請を平成 24 年度総会・評議員会終了後、早急に実行する。

学園の卒業生で良かったと感じられる校友会を目指し、本事業計画を策定する。

1. 校友会員に対するサービスの充実

校友会員に対する各種サービスを見直し、会員にとって魅力あるサービスが展開できるよう検討し実現を目指す。

なお、サービスの基礎となる通常会員数の増強について、引き続き会員拡張に努めるとともに財政の健全化を図る。

また、クラス会開催時に提供いただいている会員情報を活用し、通常会員の増加目標を 1,000 名とする。

(1) 会誌・工学情報の定期発行

財政健全化を図るため、これまで会員を対象に定期的に年 4 回発行していた工学情報を年 3 回の発行とする。この内、冬号をサービス号と位置付け、会員でない住所判明者にも発送し、学園情報、校友会情報を発信して、校友会への加入を呼び掛ける。

また、ホームページ等の充実に努力することにより発行数減少を補う。

(2) 卒業生バックアップセンターへの卒業生登録の推進

「卒業生バックアップセンター」は卒業生相互のコミュニティ機能を有しており、将来の連絡手段に活用できるよう卒業生の登録推進を図る。

転職希望者への情報提供サイトの設置を端緒とした「卒業生バックアップセンター」ではあるが、社会的経済不況の折、求人協力企業の登録に伸び悩みがみられるが、引続きその勧誘に努める。

また、「転送メールアドレスの提供」は、総合メディアセンターによる卒業生へのメールアドレスの提供時期に合わせ、卒業生ごとにメールアドレスを提供できるよう検討する。

(3) 会員への斡旋事業

次の斡旋事業を引き続き展開する。

- ① 学園図書館の利用斡旋
- ② 学術図書雑誌の購入斡旋
- ③ 法律、特許相談の斡旋
- ④ 校友会員限定の特別割引物品の斡旋

(4) ホームページの情報充実

ホームページの充実に図り、繰り返し閲覧する会員の確保に努める。

充実にに向けた内容は次のとおり

- ① 工学情報バックナンバーを電子ファイル化し掲載

- ②ホームページを介したクレジットカード決済による会費の納入方法を更に推進する。
- ③各支部でホームページを簡単に作成、維持、管理できるような仕組みの実現を検討する。

(5) メールマガジン配信の検討

メール配信システムの構築に続き、配信するコンテンツについて検討し、配信することを検討する。

2. 校友会活動の活性化

校友会員向けの活動として、次の事業を行う。

(1) 支部活動の活性化

①支部への支援

県支部、地方支部の活発な活動が校友会の活性化に繋がるという考えから、各支部総会に校友会の役員が出席し、校友会活動および学園の近況報告を行うとともに地方会員との交流を図り支部活動を支援する。

また、職域電機会との連携を図り、地方転勤者および新卒者の情報を支部に提供する。

②東京都支部の設立

現在、当校友会の地方支部は1県1支部を原則として整備を終了しており、一般社団法人への移行を前提に、東京都支部を設立する。

③県支部連絡協議会の開催

県支部の活動状況等について横断的に意見交換できる会議体として「県支部連絡協議会」を平成22年度から開催してき、今年度も開催を継続し、支部の活性化に繋げる。

(2) 職域電機会の活性化と新規設立の促進

①職域電機会への支援

職域電機会の活発な活動は、支部の活動と同様に、校友会の活性化に繋がるという考えからこれを支援する。

②技術士会の設立

学園と連携し、会員相互の親睦と技術研鑽を高め、東京電機大学の発展を支援し、技術分野で地域社会に貢献することを目的とする東京電機大学技術士会（仮称）の設立を目指す。

(3) 同窓会活動への支援

大学同窓会、中学・高等学校同窓会、電機学校同窓会の活動に対し、支援ならびに協力を行う。

なお、各種OB会にもその規模に応じて参画し、

校友会のPRに努める。また、定例的にOB会を開催している団体の幹事リストを作成し、校友会行事の周知に活用する。

(4) 留学生OBとの連携

昨年度に引き続き、交流会を通じて、留学生が校友会に対する関心と理解を深めるとともに、学園への帰属意識の高揚を図る。

また、国際センターの協力を得て、海外で活躍する卒業生との交流を図ることを検討する。

3. 準会員への支援

校友会では、例年、準会員である学園の学生・生徒に対して支援を行っているが、今後もその支援体制を継続する。

平成24年度は、東京千住キャンパスで開催される最初の学園祭（旭祭）を大学同窓会と連携して支援する。

また、メディアに登場して学園を広く広報するイベントに対して支援する「イベント協賛援助」を継続する。

なお、例年実施している準会員への支援事業は次のとおりである。

①クラブ活動補助

②全学行事補助

③卒業式・入学式記念品補助

④卒論発表会・就職セミナー等支援

⑤準会員向け工学情報（KJ）発行

⑥東京電機大学校友会・新電気奨学金貸付

⑦イベント協賛援助

4. 社団法人としての公益活動と目指す方向

(1) 公益活動

本校友会は、社会一般への教育、学術、文化発展に寄与することを目的とする社団法人である。

現在の特例民法法人（現行社団法人）として行っていく公益事業は次のとおりである。

①公開講演会の主催、共催、後援（地方会場での開催を含む）

②見学会の主催、共催、後援

③学園主催の公開講座（ME講座、マセマティカ講座、ロボット製作講座等）の協賛

④大学院博士・修士論文発表会協賛

⑤その他事業への支援

(2) 目指す方向

平成 22 年度の評議員会・総会において一般社団法人を目指すことが承認され、理事会の下に「法人移行実行委員会」を設置し、法人移行への課題を具体的に洗い出し、定款や規則等の作成は終了した。引続き、平成 25 年 4 月 1 日の移行に向けて、具体的な法人移行に関する申請書を作成し、平成 24 年度の評議員会・総会終了後、できるだけ早く移行申請を行う。

5. 東京千住キャンパス創設事業募金への協力

卒業生向けの募金活動について、工学情報やホームページを用いて広報し、また、校友会総会、支部総会、全国支部長会や職域電機学会会長会等を通じ、引き続き積極的に募金への協力要請を行う。

6. 学園との連携強化

(1) 学生募集の支援

大学は、東京千住キャンパスの開設に伴いブランドビジョンの具現化を期しており、校友会とし

ては、そのような現状を踏まえて、入試センターをはじめ学園との更なる連携を図り、教職校友会ならびに地方支部を通じて学生募集を支援する。

(2) 経営同友会の事業活動への協力

経営同友会は学園と産業界で活躍されている校友の方々との間にネットワークを構築し、会員企業ならびに学園および校友の発展を目指すことを目的に設立された組織である。

校友会では、学園と校友との連携の重要性を考慮して、経営同友会の企画・運営する講演会等の事業活動に積極的に協力する。

(3) 父母懇談会への参画と協力

学生支援センターと連携し、地方で開催する父母懇談会に校友会が参加して校友会ならびに卒業生組織の存在をPRすると共に、当地に就職を希望するご子息への情報提供を行う。

以上

■平成24年度予算 (案)

平成24年度 収支予算書 (案)
(平成24年4月1日から平成25年3月31日)

(単位：円)

科 目	予算額	前年予算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	65,500,000	65,900,000	△ 400,000
通常会員収入	8,500,000	9,500,000	△ 1,000,000
予納会員収入	57,000,000	56,400,000	600,000
事業収入	500,000	500,000	0
見学・講演会費収入	500,000	500,000	0
資産運用収入	540,000	630,000	△ 90,000
受取利息配当金収入	540,000	630,000	△ 90,000
補助金等収入	15,000,000	15,000,000	0
学園助成金収入	15,000,000	15,000,000	0
預託金取崩収入	4,000,000	4,000,000	0
準会員預託金取崩収入	4,000,000	4,000,000	0
寄付金収入	3,500,000	4,500,000	△ 1,000,000
工学情報広告収入	3,000,000	4,000,000	△ 1,000,000
オーム社寄贈品収入	400,000	400,000	0
その他寄付金収入	100,000	100,000	0
雑収入	36,080,000	80,000	36,000,000
支部・同窓会資金受入収入	36,000,000	0	36,000,000
その他収入	80,000	80,000	0
事業活動収入計	125,120,000	90,610,000	34,510,000
2. 事業活動支出			
事業費支出			
給与手当支出	3,260,000	0	3,260,000
委託費支出	5,379,500	0	5,379,500
消耗品費支出	1,440,000	0	1,440,000
賃借料支出	940,800	0	940,800
会報発行費支出	31,455,000	38,910,000	△ 7,455,000
名簿管理費支出	4,700,000	4,700,000	0
W e b 情報発信サービス費支出	4,060,000	3,810,000	250,000
見学・講演会・法律相談費支出	2,450,000	2,450,000	0
支部活動費支出	16,320,000	16,620,000	△ 300,000
同窓会活動費支出	12,084,000	11,244,000	840,000
クラブ活動補助費支出	4,850,000	4,850,000	0
全学行事補助費支出	5,000,000	6,000,000	△ 1,000,000
卒入学記念品費支出	2,800,000	2,800,000	0
卒論発表会・就職セミナー費支出	300,000	300,000	0
工学情報分担金支出	2,000,000	2,000,000	0
イベント協賛援助費支出	2,000,000	2,000,000	0
その他事業費支出	4,630,000	400,000	4,230,000
事業費支出計	103,669,300	96,084,000	7,585,300

(単位：円)

科 目	予算額	前年予算額	差 異
管理費支出			
給与手当支出	840,000	4,100,000	△ 3,260,000
委託費支出	2,305,500	7,160,000	△ 4,854,500
消耗品費支出	360,000	3,000,000	△ 2,640,000
旅費交通費支出	300,000	300,000	0
会議費支出	4,840,000	4,440,000	400,000
通信運搬費支出	3,000,000	3,000,000	0
印刷製本費支出	200,000	200,000	0
賃借料支出	235,200	1,536,000	△ 1,300,800
慶弔費支出	200,000	200,000	0
雑費支出	1,400,000	900,000	500,000
管理費支出計	13,680,700	24,836,000	△ 11,155,300
事業活動支出計	117,350,000	120,920,000	△ 3,570,000
事業活動収支差額	7,770,000	△ 30,310,000	38,080,000
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
事業積立金特定資産取崩収入	15,000,000	5,000,000	10,000,000
通常会員会費特定資産取崩収入	0	17,000,000	△ 17,000,000
奨学金返済収入	4,000,000	4,000,000	0
投資活動収入計	19,000,000	26,000,000	△ 7,000,000
2. 投資活動支出			
準会員基金特定資産繰入支出	0	10,080,000	△ 10,080,000
奨学金貸付支出	6,500,000	6,500,000	0
投資活動支出計	6,500,000	16,580,000	△ 10,080,000
投資活動収支差額	12,500,000	9,420,000	3,080,000
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
Ⅳ 予備費支出	2,400,000	4,400,000	△ 2,000,000
当期収支差額	17,870,000	△ 25,290,000	43,160,000
前期繰越収支差額	51,999,911	34,336,970	17,662,941
次期繰越収支差額	69,869,911	9,046,970	60,822,941

(評議員会 第5号議案)

■理事・監事の候補者推薦について

【定款第13条第1項第一号理事】

1. 候補者の推薦は、定款施行細則第3条の定めるところにより以下のとおり

- ① 同窓会並びに支部・電機会
- ② 理事会

2. 推薦状況

		①同窓会 並びに電機会	②理事会	備考
推薦母体数		96件	0件	
回答数	総数	60件	0件	理事11名、 監事3名
	候補者 指名	11件	0件	
	理事会 一任	49件	----- ----	

3. 第661回定例理事会

(平成24年4月24日開催) 決定事項

候補者は、監事改選(阿久津監事逝去にともなう後任の1名追加となり、2名)、理事改選とも定数を上回ったため、慎重審議の結果、評議員会には下記のとおり提案することを決定した。

評議員会における理事・監事の選出について

- ①候補者各位の心情を配慮し、氏名は公表せず人数のみとする。
- ②理事・監事選考委員会を設置し、当委員会に選考を委ね、その結果を評議員会に報告し承認を得る。
- ③理事・監事選考委員会の構成は、次のとおりとする。
各校(大学・短大、中学・高等学校、電機学校)卒業生より各々2名、並びに評議員会議長、理事長、常務理事の合計9名とする。
- ④各校卒業生の選考委員は事前に同窓会を通じて選出を依頼し、評議員会において承認を得る。

特別会員から選出される理事(役職理事)の推薦について

1. 第661回定例理事会(平成24年4月24日開催)において推薦された理事

【定款第13条第1項第二号理事】

山名 昌男(学生支援センター長)

(評議員会・総会共通 第6号議案)

■移行の登記を停止条件とした一般社団法人移行に関する承認の件

- ・移行後の理事、監事の選任
- ・最初の代表理事、業務執行理事を選定し、定款変更案附則に掲名すること
- ・「定款変更案」「総会承認規程・規則」の決議
- ・定款変更案に関する軽微な修正を理事長に一任とする旨の承認

(評議員会・総会共通 第7号議案)

■東京千住キャンパスに伴う現定款第2条事務所所在地の変更

下記の住所に変更する

東京都足立区千住旭町5番

■会務報告(概要)

1. 定例理事会(議事録:「工学情報」に順次掲載済)

○第652回 平成23年4月26日(火)

議題1. 前回議事録の承認

議題2. 平成22年度事業報告の承認について

議題3. 平成22年度決算の承認並びに監査報告について

議題4. 平成23年度予算(22年度決算確定後)の承認について

議題5. 第121回評議員会・第66回総会および懇親会の次第について

議題6. 平成23・24年度評議員候補者について

議題7. 平成23年度理事・監事候補者の推薦について

議題8. 卒業者評議員候補の推薦について

議題9. その他

報告事項

報告1. 法人移行に係る中間報告

○第653回 平成23年6月1日(火)

議題1. 正・副理事長選出について

議題2. 各委員会委員長並びに委員の選任について

○第654回 平成23年6月7日(火)

議題1. 第652・第653回議事録の承認

議題 2. 平成 23 年度事業計画の実行担当について

議題 3. 参与の委嘱について

議題 4. 東日本大震災に被災した在学生に対する
修学助成金給付措置について

議題 5. その他

報告事項

報告 1. イベント申請

○第 655 回 平成 23 年 7 月 19 日 (火)

議題 1. 第 654 回議事録の承認

議題 2. 全国支部長会について

議題 3. 東京電機大学技術士会 (仮称) 発足について
のお願い

議題 4. その他

○第 656 回 平成 23 年 9 月 20 日 (火)

議題 1. 第 655 回議事録の承認

議題 2. 全国支部長会について

議題 3. 平成 24 年度評議員会・総会および各同
窓会総会について

議題 4. その他

報告事項

報告 1. 公社債投信・定期預金の解約について

報告 2. 法律相談について

○第 657 回 平成 23 年 10 月 11 日 (火)

議題 1. 第 656 回議事録の承認

議題 2. 平成 24 年度評議員会・総会および各同
窓会総会について

議題 3. その他

○第 658 回 平成 23 年 11 月 15 日 (火)

議題 1. 第 657 回議事録の承認

議題 2. 平成 23 年度上半期収支決算および監査
について

議題 3. 全国支部長会の対応 (議事要旨) について

議題 4. 年末役員懇談会の開催について

議題 5. その他

報告事項

報告 1. 校友会イベント協賛申請について

○第 659 回 平成 23 年 12 月 6 日 (火)

議題 1. 第 658 回議事録の承認

議題 2. 第 8 回職域電機会長会の実施について

議題 3. 校友会年間会議スケジュールについて

議題 4. 事業計画立案依頼について

議題 5. 長谷工電機設立の承認について

議題 6. 工学情報について

議題 7. その他

○第 660 回 平成 24 年 3 月 6 日 (火)

議題 1. 第 659 回議事録の承認

議題 2. 平成 24 年度事業計画 (案) について

議題 3. 平成 24 年度予算 (案) について

議題 4. 平成 24 年度校友会総会・評議員会について

議題 5. 一般社団法人移行に関する資料

(移行手続きの経緯及び定款変更案重要ポイントの説明)

議題 6. その他

報告事項

報告 1. 校友会イベント協賛申請について

2. 評議員会・総会 (議事録:「工学情報」に掲載済)

第 121 回 評議員会 平成 23 年 5 月 21 日

第 66 回 総会 平成 23 年 5 月 21 日

3. 各委員会 (省略)

各校卒業者（住所判明者）並びに校友会員数

（平成 24 年 3 月 31 日現在）

	電機学校	中学・高等学校	院・大学・短大	合計
住所判明者数	4,549	11,109	67,571	83,229
会 員 数	810	2,419	27,719	30,948

地方別内訳

（平成 24 年 3 月 31 日現在）

県名	住所判明者数	会員数	県名	住所判明者数	会員数	県名	住所判明者数	会員数
北海道	454	152	福井県	110	42	山口県	140	49
青森県	186	70	山梨県	780	281	徳島県	120	31
岩手県	236	79	長野県	1,504	432	香川県	153	51
宮城県	398	147	岐阜県	253	73	愛媛県	144	53
秋田県	209	79	静岡県	2,176	684	高知県	125	51
山形県	227	76	愛知県	843	265	福岡県	338	134
福島県	598	241	三重県	247	81	佐賀県	68	15
茨城県	2,877	1,218	滋賀県	83	28	長崎県	119	43
栃木県	1,641	687	京都府	115	40	熊本県	105	41
群馬県	1,695	691	大阪府	301	108	大分県	131	54
埼玉県	18,046	7,505	兵庫県	315	96	宮崎県	110	30
千葉県	10,065	3,877	奈良県	62	13	鹿児島県	130	39
東京都	25,141	9,498	和歌山県	67	13	沖縄県	137	49
神奈川県	10,162	3,059	鳥取県	54	21	その他	139	26
新潟県	907	300	島根県	52	14	合 計	83,229	30,948
富山県	685	172	岡山県	148	31			
石川県	277	75	広島県	356	134			

平成23年度開催 総会・クラス会

開催日	内 容
11. 04. 01	大学 昭和42年 工学部第一部機械工学科クラス会
11. 04. 01	電機第二工業学校 昭和24年 第一本科機械科クラス会
11. 04. 02	高校 昭和29年 定時制機械科クラス会
11. 04. 08	高校 昭和27年 全日制電気科電力課程3組クラス会
11. 04. 16	高校 昭和41年 全日制電子科1組クラス会
11. 04. 23	大学 工学部硬式庭球部クラブOB会
11. 04. 30	大学 工学部剣道部、理工学部剣道部合同クラブOB会
11. 05. 14	高校 昭和35年 全日制電気科電力課程2組クラス会
11. 05. 14	高校 昭和36年 全日制電気科電気通信課程2組クラス会
11. 05. 15	高校 昭和27年 定時制機械科A組、B組、C組、D組合同クラス会
11. 05. 28	高校 平成3年 全日制電子科1組クラス会
11. 05. 29	大学 工学部硬式野球部クラブOB会
11. 05. 31	電機第一工業学校 昭和23年 第一本科電気科クラス会
11. 06. 04	大学 昭和47年 工学部第一部電気工学科クラス会
11. 06. 04	大学 山岳部山の会クラブOB会
11. 06. 04	電機学校 山岳部クラブOB会
11. 06. 11	短大 東京電機大学短期大学卒業生の会縦の会
11. 06. 24	高校 昭和26年 全日制電気科電力課程1組クラス会
11. 06. 25	大学 昭和46年 工学部第一部精密機械工学科クラス会
11. 06. 25	高校 昭和53年 全日制電子科1組クラス会
11. 06. 28	高校 昭和34年 全日制電気科電力課程2組クラス会
11. 07. 02	高校 昭和40年 全日制普通科1組クラス会
11. 07. 02	高校 昭和40年 全日制普通科3組クラス会
11. 07. 02	高校 昭和40年 全日制普通科2組クラス会

開催日	内 容
11. 07. 02	大学 昭和53年 工学部第一部建築学科クラス会
11. 07. 02	大学 工学部第一部建築学科A B Uの会
11. 07. 03	大学 昭和52年 工学部第二部電気通信工学科クラス会
11. 07. 09	大学 理工学部理工学科生体応用工学研究室研究室OB会
11. 08. 05	大学 工学部建築学科 建築・都市空間研究室研究室OB会
11. 08. 23	高校 平成23年 全日制普通科5組クラス会
11. 09. 03	大学 情報環境学部情報環境学科信号処理研究室研究室OB会
11. 09. 03	大学 工学部第二部バドミントン部クラブOB会
11. 09. 15	大学 工学部建築学科 船越研究室研究室OB会
11. 09. 24	大学 情報環境学部情報環境学科信号処理応用研究室研究室OB会
11. 09. 29	工専 昭和25年 電気科、大学 昭和27年 工学部第一部電気工学科合同クラス会
11. 09. 30	高校 昭和37年 全日制普通科1組、2組合同クラス会
11. 10. 01	高校 昭和37年 定時制電気科電力課程クラス会
11. 10. 05	高校 昭和35年 全日制電気科電気計測課程クラス会
11. 10. 08	大学 昭和35年 工学部第一部電気工学科、電気通信工学科合同クラス会
11. 10. 08	大学 工学部第一部小谷研究室、合原研究室、安達研究室合同研究室OB会
11. 10. 13	高校 昭和26年 全日制電気科電気機器課程クラス会
11. 10. 14	電機第二工業学校 昭和24年 第一本科電気科クラス会
11. 10. 16	大学 昭和43年 工学部第一部機械工学科クラス会
11. 10. 22	電機学校 昭和62年 夜間部工業専門課程電気工学科クラス会
11. 10. 23	大学 昭和30年 工学部第一部電気工学科、電気通信工学科合同クラス会
11. 10. 26	工専 昭和26年 電気科クラス会
11. 10. 27	工専 昭和25年 電気通信科クラス会
11. 10. 29	大学 昭和33年 工学部第一部電気工学科、工学部第一部電気通信工学科、工学部第二部電気工学科合同クラス会

開催日	内 容
11. 10. 29	大学 昭和56年 工学部第一部電気工学科クラス会
11. 10. 29	大学 昭和40年 工学部第一部電子工学科クラス会
11. 10. 29	大学 工学部第一部機械工学科 粘性・数値・渦流体力学研究室合同研究室OB会
11. 10. 29	大学 工学部第一部機械工学科振動制御研究室研究室OB会
11. 10. 29	大学 工学部情報通信工学科音響信号処理研究室研究室OB会
11. 10. 29	大学 工学部第一部空手道部クラブOB会
11. 10. 29	大学 昭和44年 工学部第一部応用理化学科クラス会
11. 10. 29	大学 工学部オーディオ技術研究部クラブOB会
11. 10. 29	大学 工学部第一部・工学部第二部会 錦祭実行委員会合同クラブOB会
11. 10. 29	大学 工学部第一部体育会本部クラブOB会
11. 10. 29	大学 学術研究部会アマチュア無線部クラブOB会
11. 10. 30	大学 工学部合気道部クラブOB会
11. 11. 04	大学 理工学部知能機械工学科樫村研究室研究室OB会
11. 11. 05	大学 理工学部棋道部クラブOB会
11. 11. 06	大学 理工学部電子情報工学科縦の会
11. 11. 08	大学 昭和41年 工学部第一部応用理化学科クラス会
11. 11. 12	高校 昭和41年 全日制電子科2組クラス会
11. 11. 12	大学 工学部第一部ゴルフ部クラブOB会
11. 11. 12	大学 学術研究部会本部クラブOB会
11. 11. 12	大学 工学部三浦種敏研究室、工学部浜田晴夫研究室、情報環境学部渡邊祐子研究室合同研究室OB会
11. 11. 12	大学 昭和42年 工学部第二部機械工学科クラス会
11. 11. 12	電機学校 山岳部OB会発足50周年記念行事クラブOB会
11. 11. 13	電機第二工業学校 昭和24年 第一本科電気科3組クラス会
11. 11. 13	大学 グリークラブクラブOB会
11. 11. 19	大学 昭和43年 工学部第一部応用理化学科クラス会

開催日	内 容
11. 11. 19	大学 昭和56年 理工学部経営工学科クラス会
11. 11. 19	高校 陸上部クラブOB会
11. 11. 19	短大 昭和33年 第二部電気科クラス会
11. 11. 19	短大 昭和39年 第二部電気科クラス会
11. 11. 19	大学 尺八部竹生会クラブOB会
11. 11. 21	大学 昭和32年 工学部第一部電気工学科クラス会
11. 11. 25	高校 昭和41年 定時制電気科電力課程1組クラス会
11. 11. 25	大学 昭和31年 工学部第二部電気工学科クラス会
11. 11. 26	大学 情報環境学部情報環境学科生体信号処理研究室研究室OB会
11. 11. 27	大学 工学部第一部バドミントン部クラブOB会
11. 12. 03	高校 昭和40年 全日制電気科電気通信課程、電力課程、電気計測課程、電気機器課程合同クラス会
11. 12. 03	大学 工学部電気工学科エネルギー環境システム研究室研究室OB会
11. 12. 03	大学 工学部電気・電子工学科電子計算機応用研究室（大井研究室）研究室OB会
11. 12. 10	大学 理工学部建設工学科・建設環境工学科 鳩萃会縦の会
11. 12. 10	大学 神田体育会サイクリング部クラブOB会
11. 12. 10	大学 情報環境学部軽音楽部クラブOB会
11. 12. 11	高校 平成20年 全日制普通科7組クラス会
11. 12. 15	大学 昭和40年 工学部第一部電気通信工学科クラス会
11. 12. 17	高校 硬式テニス部クラブOB会
11. 12. 26	大学 昭和41年 工学部第一部電気通信工学科クラス会
12. 01. 07	中学 平成17年 全日制普通科A組、B組、C組合同クラス会
12. 01. 08	大学 工学部第一部体育会蹴球部、理工学部蹴球部合同クラブOB会
12. 01. 09	高校 平成22年 全日制普通科2組クラス会
12. 01. 14	大学 理工学部生命理工学科生体応用電子工学研究室研究室OB会
12. 01. 14	大学 工学部メディア研究会クラブOB会

開催日	内 容
12. 01. 14	大学 工学部第一部体育会ワンダーフォーゲル部クラブOB会
12. 01. 20	高校 昭和41年 全日制工業計測科クラス会
12. 01. 21	高校 昭和39年 全日制普通科2組クラス会
12. 01. 28	短大 昭和35年 第二部電気科、大学 昭和38年工学部第二部電気工学科合同クラス会
12. 02. 02	大学 昭和50年 工学部建築学科クラス会
12. 02. 10	大学 昭和45年 工学部第一部電気工学科クラス会
12. 02. 11	大学 理工学部電子情報工学研究室研究室OB会
12. 02. 11	大学 工学部電気電子工学科 電子情報インターフェース研究室研究室OB会
12. 03. 10	大学 工学部第一部、工学部第二部、理工学部、情報環境学部 卓球部合同クラブOB会
12. 03. 21	大学 昭和36年 工学部第一部電気工学科・電気通信工学科・電子工学科合同クラス会